

# 事務事業評価資料

施策名	バリアフリー住宅ストックの整備推進		所管部局課名	県土整備部まちづくり局都市政策課 健康福祉部社会福祉局高齢社会課		
事業名	人生80年いきいき住宅改造助成費		担当者電話番号	福祉のまちづくり係 078-362-4298 高年保健福祉係 078-362-3188		
事業目的	高齢者等対応の住宅ストックを充実し、長寿社会に対応した人にやさしい住まいづくりを推進する。					
事業内容	(1)一般型 対象者：高齢者(60歳以上)、又は身体障害者のいる世帯など 補助要件：3箇所以上の改造(必須工事の実施を含む) 助成対象工事費限度額：1,000千円/世帯 (2)特別型 対象者：要介護(支援)認定を受けた被保険者のいる世帯、又は身体障害者のいる世帯 補助要件：住まいの改良相談員等の承認 助成対象工事費限度額：介護保険制度等の他制度住宅改修費とあわせ1,000千円/世帯 (3)増改築型 対象世帯：(1)、(2)の対象世帯又はその者と同居しようとする世帯 補助要件：(1)、(2)			事業開始年度	平成7年度	
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額	平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額	
	事業費	(250,552千円) 262,218千円	(257,219千円) 268,595千円		(258,825千円) 275,700千円	
	人件費	5,083千円 従事人員 0.6人	5,016千円 従事人員 0.6人		4,922千円 従事人員 0.6人	
	総コスト(+)	267,301千円 従事人員 0.6人	273,611千円 従事人員 0.6人		280,622千円 従事人員 0.6人	
事業の目標	住宅のバリアフリー化の推進		[目標設定理由] 長寿社会に対応した人にやさしい住まいづくりを行うためには、高齢者等対応住宅ストックを充実させる必要があるため			
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標	20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)
	人生80年いきいき住宅 助成事業補助件数 (21年度からの累計)	目標値 10,000件 年度 25年度	- (1,892件)	2,074件 (132千円)	4,000件 (146千円)	H20 - H21 20.7% H22 40.0%
評価結果	必要性	・高齢者等が自宅で長く自立して生活し、また介護者の負担を軽減するためにも、バリアフリー化住宅改造を進めることは社会的な要請である。 ・その改造に要する費用の一部を支援することにより、長寿社会に対応した人にやさしい住まいづくりを推進する必要がある。				
	有効性	・住宅のバリアフリー化を計画的に進めることで、高齢者等が長く自立して生活でき、介護の負担の軽減に資する。 ・補助件数が増加傾向にあり、着実に成果が上がっている。				
	効率性	・改修工事内容の多様化等により、1件あたり単価は増加しているが、改造箇所ごとに限度額を設定することによりコストを抑制し、効率的に実施している。				
	民間・市町との役割分担	・バリアフリー改造を実施する県民に対し、身近な窓口である市町が助成を行い、市町に対し県が支援している。 ・所得に応じた負担区分により、住宅のバリアフリー化を促進していることから、役割分担は適正に行われている。				
	受益と負担の適正化	・県民、市町、県のそれぞれが応分の負担をして住宅のバリアフリー化を促進することにより、高齢者対応住宅のストックの充実を図っている。 ・また対象者には所得に応じた負担を求めており、受益と負担の適正化を図っている。				
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し	
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長 終期設定
説明	市町移譲 民間移譲 民間委託 PFI 負担割合変更 事務改善 その他					
説明	本格的な高齢化社会の到来により、高齢者等にやさしく、また、介護者負担が軽減されるバリアフリー化住宅改造を進めることは社会的な要請であり、最終目標の10,000戸の実現に向けて継続して実施する。					